

平成29年2月9日

# 警察関連と小売業の リレーション強化に関する 実態調査

NPO法人 全国万引犯罪防止機構  
警察関連と小売業のリレーション強化委員会

# 実態調査の実施

## 基本姿勢

- ▶ リレーションが上手く行われていない声を少なからず耳にすることから、その実態を調査したうえで対策を検討する。
- ▶ 警察関連と小売業とのリレーションを強化することが目的であって、警察の対応について批判をするものではないことを念頭に置く。

## 調査概要

- ▶ 調査期間：平成28年10月5日～11月4日
- ▶ 調査対象：小売業者552社
- ▶ 回収結果：142社（回収率25.7%）



内訳：百貨店41%、ホームセンター40%、スーパー30%、  
ドラッグストア、衣料品、書籍は約20%、楽器等は14%



# I それぞれの立場からの意見

## 小売業者の現場の声

- ▶ 防犯カメラ映像などで犯人の特定ができないような場合に被害届を受理してくれる時と受理してくれない時がある。
- ▶ 万引きの瞬間を見ているか又はビデオに録画していない限り逮捕はできないと言われた。
- ▶ 被害届を出したら買取をさせることができなくなると言われた。
- ▶ 過去に被害届を何度も出している常習万引き犯を逮捕したが、今回の事件だけの捜査になると言われた。
- ▶ 犯人が余罪を認め被害品の全額を弁償したにもかかわらず、余罪を事件化することはできないと言われた。



## 警備業者の声

- ▶ 全件引き渡しを推奨するようになってから警察は対応してくれるようになった。
- ▶ 万引き犯を検挙したと通報するとほぼ対応してくれる。
- ▶ 少額の場合、警察は対応したがないこともある。
- ▶ 警察に引き渡した場合であっても、最終的に検察に送致したのか微罪処分にしたのかがわからない。
- ▶ 警察官によって対応が異なるが、日頃からコミュニケーションをとっていると比較的協力的である。



## 委員会の認識

- ▶ 都道府県警や警察署の違い、また、同一所属でも担当者の違いによって、同様の事案でも取り扱いに差異が生じるのは理解できる。
- ▶ 万引きは、認知件数が検挙件数に直結することから、認知数の増加は検挙率の向上につながる。このことから考えて、警察において認知数を減らそうとすることはないのではないかと。
- ▶ 現場の実態の認識が立場によって、異なっていることから、実態調査を行ったうえで、数値で評価することが必要である。

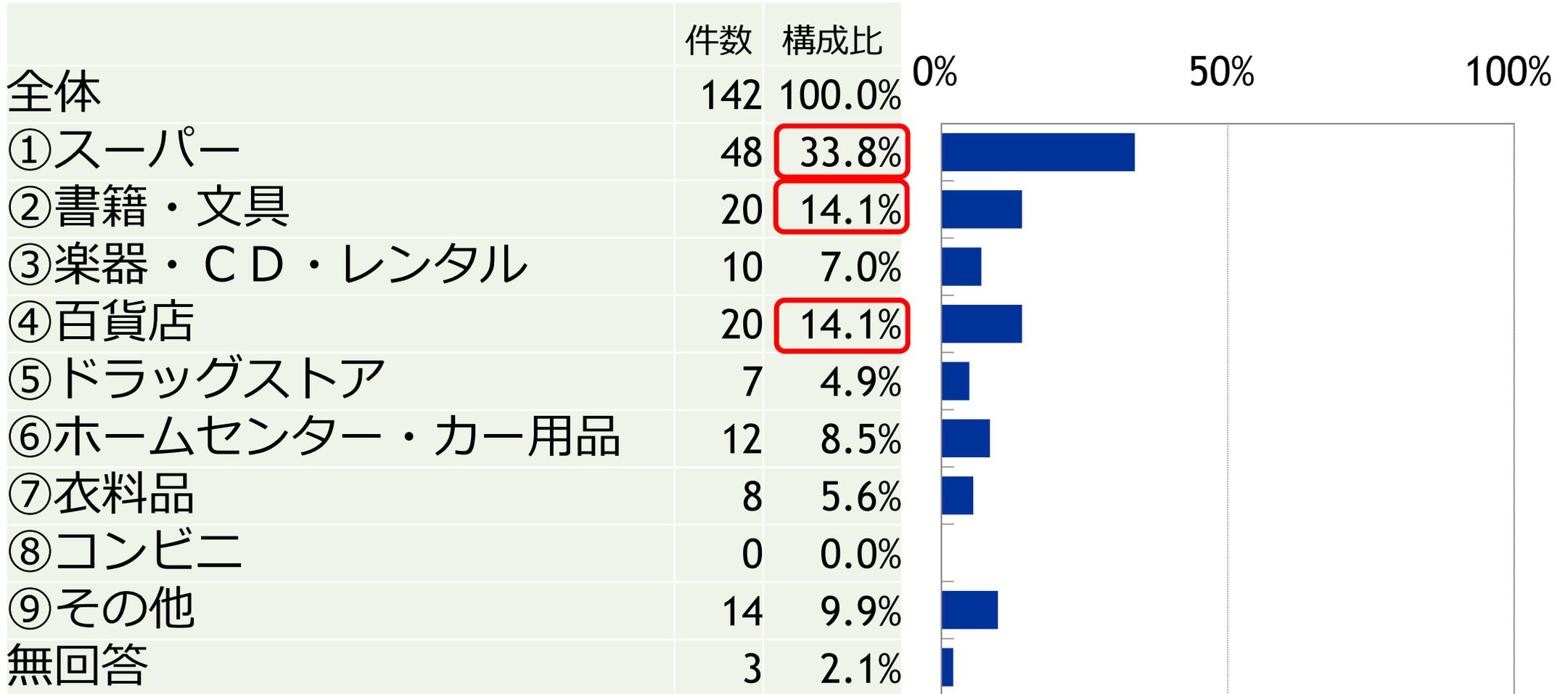




## Ⅱ 実態調査の実施と調査結果

# 調査結果

問1-1 貴社の主要な店舗の店舗形態をお教えてください。

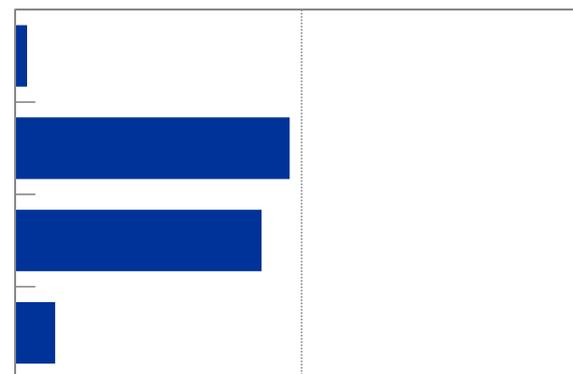


## 調査結果

問1-2 貴社の平均的な店舗規模をお教えてください。

	件数	構成比
全体	142	100.0%
① 50㎡未満	3	2.1%
② 50㎡超～1000㎡未満	68	47.9%
③ 1000㎡以上	61	43.0%
無回答	10	7.0%

0% 50% 100%



## 調査結果（クロス集計）

問1-1 貴社の主要な店舗の店舗形態をお教えてください。

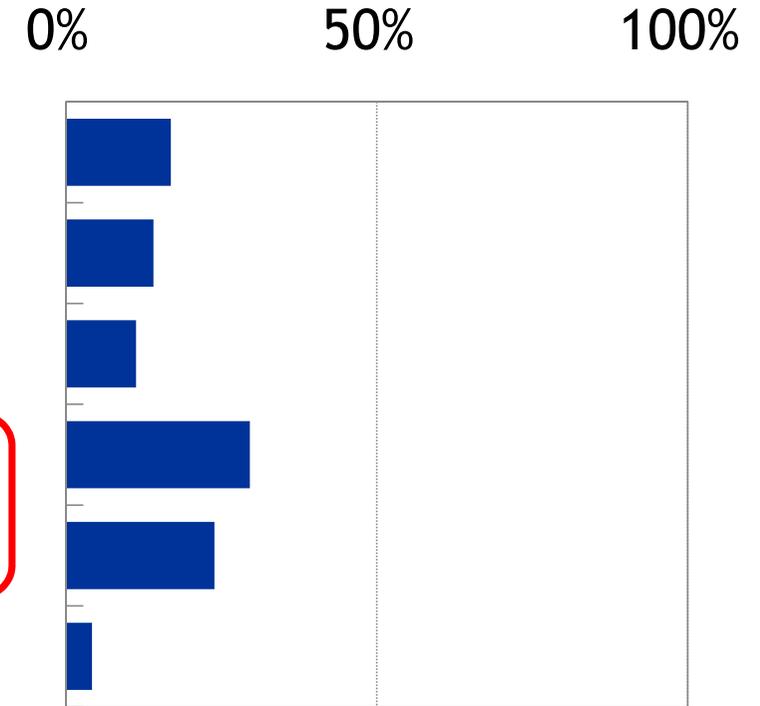
問1-2 貴社の平均的な店舗規模をお教えてください。

行ラベル／列ラベル	小規模店舗	中規模店舗	大規模店舗
①スーパー	2.1%	42.6%	55.3%
②書籍・文具	5.0%	80.0%	15.0%
③楽器・CD・レンタル	0.0%	88.9%	11.1%
④百貨店	0.0%	0.0%	100.0%
⑤ドラッグストア	0.0%	85.7%	14.3%
⑥ホームセンター・カー用品	0.0%	16.7%	83.3%
⑦衣料品	0.0%	80.0%	20.0%
⑨その他	7.7%	92.3%	0.0%

# 調査結果

## 問1-3 貴社の店舗数をお教えてください。

	件数	構成比
全体	142	100.0%
① 1店舗	24	16.9%
② 2～5店舗	20	14.1%
③ 6～10店舗	16	11.3%
④ 11～50店舗以上	42	29.6%
⑤ 50店舗以上	34	23.9%
無回答	6	4.2%



## 調査結果（クロス集計）

問1-1 貴社の主要な店舗の店舗形態をお教えてください。

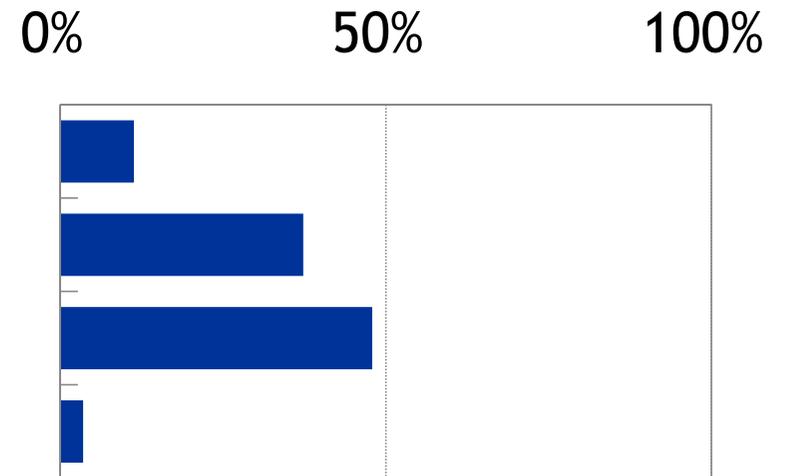
問1-3 貴社の店舗数をお教えてください。

行ラベル／列ラベル	単店舗	小規模 展開	中規模 展開	大規模 展開	超大規模 展開
①スーパー	10.4%	14.6%	14.6%	37.5%	22.9%
②書籍・文具	21.1%	21.1%	15.8%	31.6%	10.5%
③楽器・CD・レンタル	50.0%	0.0%	20.0%	20.0%	10.0%
④百貨店	36.8%	31.6%	10.5%	15.8%	5.3%
⑤ドラッグストア	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	85.7%
⑥ホームセンター・カー用品	8.3%	8.3%	0.0%	50.0%	33.3%
⑦衣料品	12.5%	0.0%	12.5%	25.0%	50.0%
⑨その他	7.7%	15.4%	0.0%	38.5%	38.5%

## 調査結果

問1-4 店舗で勤務するスタッフ人員が最も少ないときは何人ですか。

	件数	構成比
全体	142	100.0%
① 1人	16	11.3%
② 2人以上5人未満	53	37.3%
③ 5人以上	68	47.9%
無回答	5	3.5%



## 調査結果（クロス集計）

問1-1 貴社の主要な店舗の店舗形態をお教えてください。

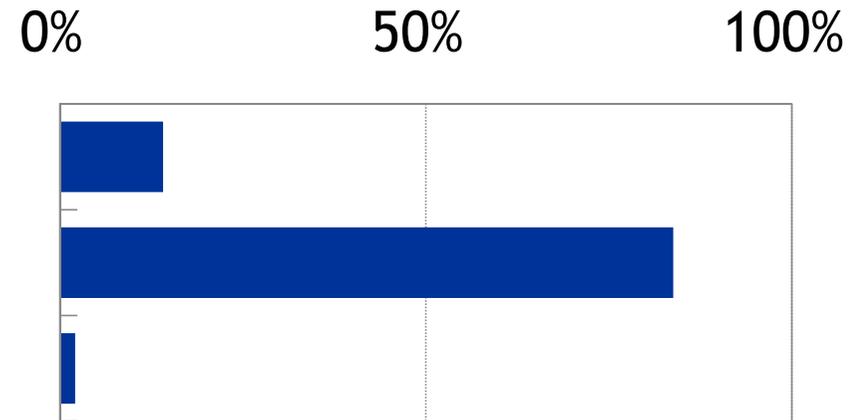
問1-4 店舗で勤務するスタッフ人員が最も少ないときは何人ですか。

行ラベル／列ラベル	1人	2以上5人未満	5人以上
①スーパー	0.0%	29.2%	70.8%
②書籍・文具	30.0%	50.0%	20.0%
③楽器・CD・レンタル	0.0%	60.0%	40.0%
④百貨店	15.8%	5.3%	78.9%
⑤ドラッグストア	0.0%	85.7%	14.3%
⑥ホームセンター・カー用品	0.0%	33.3%	66.7%
⑦衣料品	12.5%	87.5%	0.0%
⑨その他	46.2%	38.5%	15.4%

## 調査結果

問2-1 万引防止対策としてハード面の対策を実施していますか。

	件数	構成比
全体	142	100.0%
①特に実施していない	20	14.1%
②実施している	119	83.8%
無回答	3	2.1%



## 調査結果（クロス集計）

問1-1 貴社の主要な店舗の店舗形態をお教えてください。

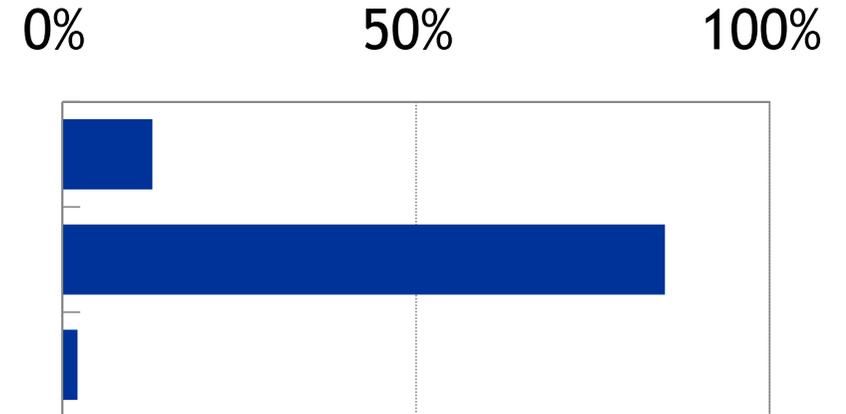
問2-1 万引防止対策としてハード面の対策を実施していますか。

行ラベル／列ラベル	特に実施していない	実施している
①スーパー	6.3%	93.8%
②書籍・文具	20.0%	80.0%
③楽器・CD・レンタル	10.0%	90.0%
④百貨店	5.0%	95.0%
⑤ドラッグストア	0.0%	100.0%
⑥ホームセンター・カー用品	0.0%	100.0%
⑦衣料品	50.0%	50.0%
⑨その他	46.2%	53.8%

## 調査結果

問2-6 万引防止対策としてソフト面の対策を実施していますか。

	件数	構成比
全体	142	100.0%
①特に取り組んでいない	18	12.7%
②取り組んでいる	121	85.2%
無回答	3	2.1%



## 調査結果（クロス集計）

問1-1 貴社の主要な店舗の店舗形態をお教えてください。

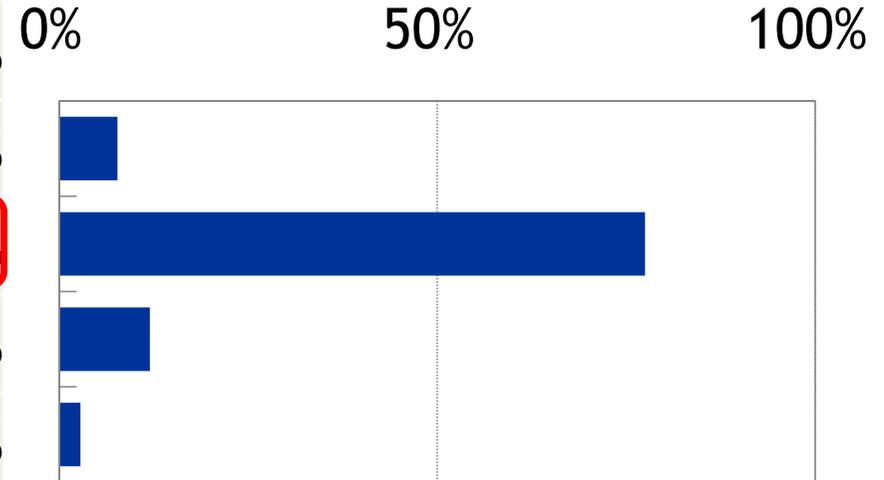
問2-6 万引防止対策としてソフト面の対策を実施していますか。

行ラベル／列ラベル	特に実施していない	実施している
①スーパー	10.4%	89.6%
②書籍・文具	25.0%	75.0%
③楽器・CD・レンタル	10.0%	90.0%
④百貨店	5.0%	95.0%
⑤ドラッグストア	14.3%	85.7%
⑥ホームセンター・カー用品	8.3%	91.7%
⑦衣料品	37.5%	62.5%
⑨その他	7.7%	92.3%

## 調査結果

問2-13 今後の万引き防止対策として、検挙と未然防止のどちらに力を入れたと考えていますか。

	件数	構成比
全体	142	100.0%
①検挙	11	7.7%
②未然防止	110	77.5%
③どちらとも言えない	17	12.0%
無回答	4	2.8%



## 調査結果（クロス集計）

問1-1 貴社の主要な店舗の店舗形態をお教えてください。

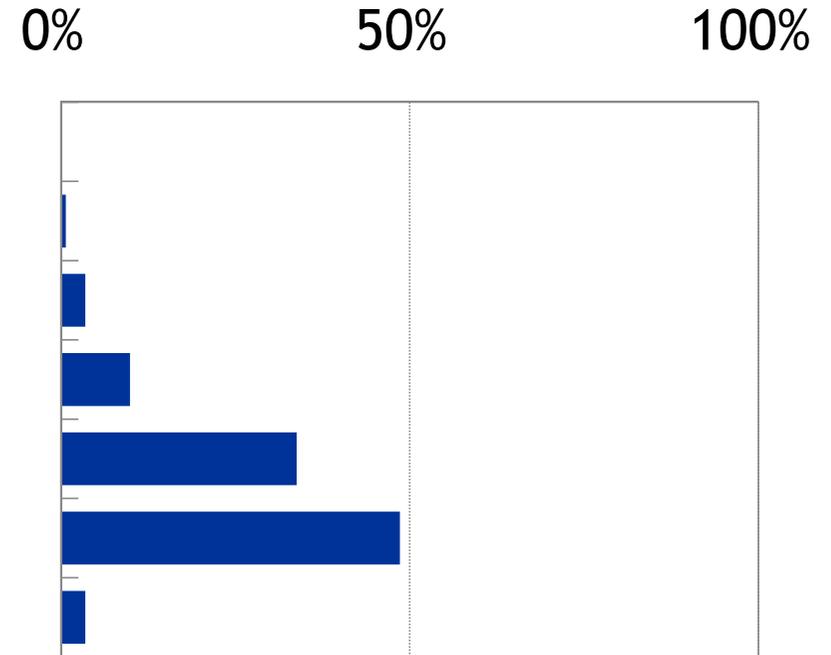
問2-13 今後の万引き防止対策として、検挙と未然防止のどちらに力を入れたいと考えていますか。

行ラベル／列ラベル	検挙	未然防止	どちらとも言えない
①スーパー	12.8	72.3	14.9
②書籍・文具	0.0	85.0	15.0
③楽器・CD・レンタル	30.0	60.0	10.0
④百貨店	0.0	90.0	10.0
⑤ドラッグストア	0.0	100.0	0.0
⑥ホームセンター・カー用品	16.7	66.7	16.7
⑦衣料品	0.0	85.7	14.3
⑨その他	0.0	100.0	0.0

## 調査結果

問3-1 1店舗当たりで平均してどの程度の万引き犯が捕まっていますか。

	件数	構成比
全体	142	100.0%
① 1日に複数件	0	0.0%
② ほぼ毎日	1	0.7%
③ 2～3日に1人	5	3.5%
④ 1週間に1人	14	9.9%
⑤ 月に1人	48	33.8%
⑥ 捕まることはほとんどない	69	48.6%
無回答	5	3.5%



## 調査結果（クロス集計）

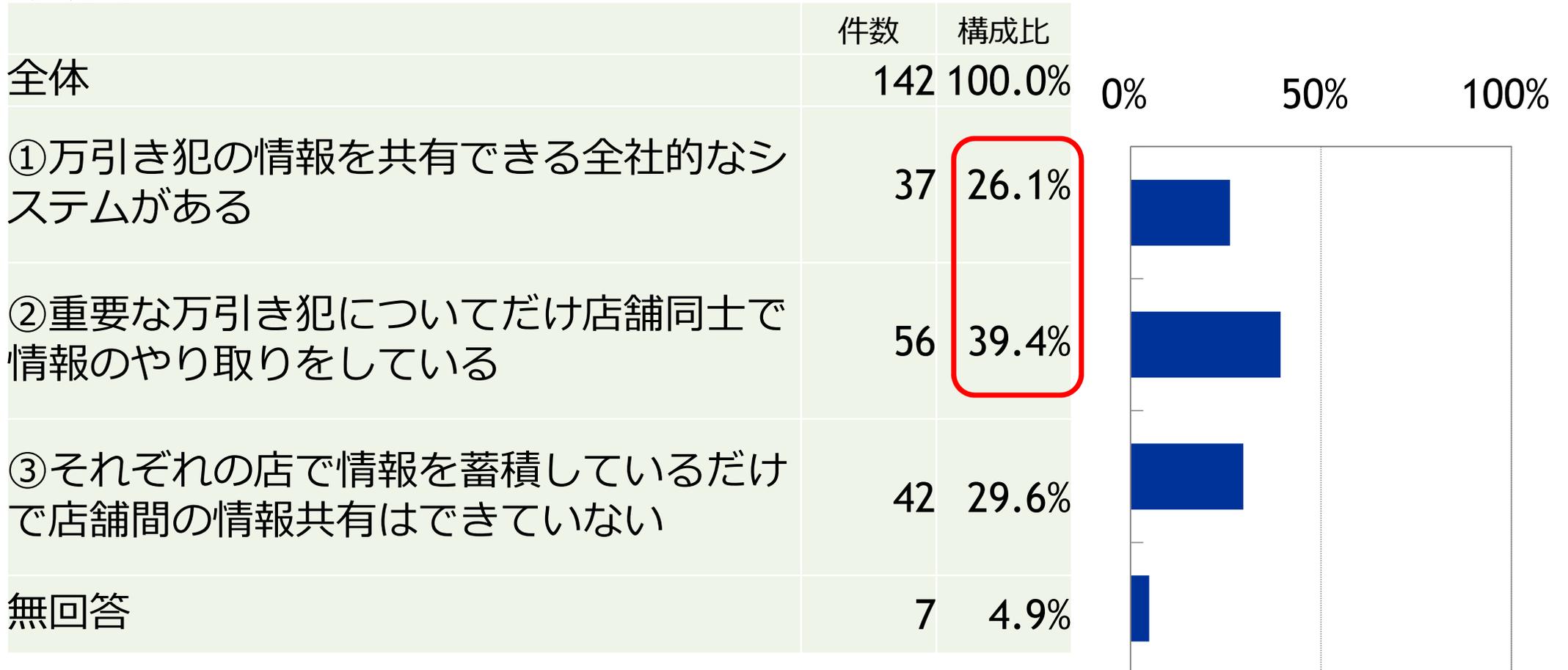
問1-1 貴社の主要な店舗の店舗形態をお教えてください。

問3-1 1店舗当たりで平均してどの程度の万引き犯が捕まっていますか。

行ラベル／列ラベル	捕まることがある					捕まるとはほとんどない
	1日に複数件	ほぼ毎日	2~3日に1人	1週間に1人	月に1人	
①スーパー	0.0%	0.0%	4.3%	23.9%	41.3%	30.4%
②書籍・文具	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	30.0%	65.0%
③楽器・CD・レンタル	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
④百貨店	0.0%	5.0%	0.0%	10.0%	50.0%	35.0%
⑤ドラッグストア	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	57.1%
⑥ホームセンター・カー用品	0.0%	0.0%	8.3%	8.3%	41.7%	41.7%
⑦衣料品	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
⑨その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

## 調査結果

問4-1 自社内各店で万引き犯の情報を共有できる社内システムがありますか。



## 調査結果（クロス集計）

問1-1 貴社の主要な店舗の店舗形態をお教えてください。

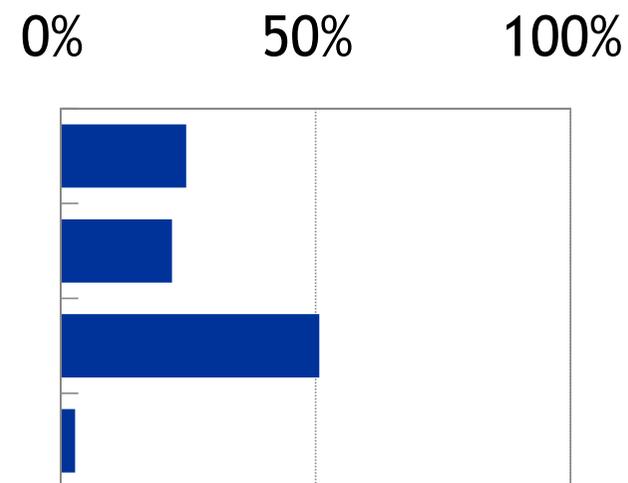
問4-1 自社内各店で万引き犯の情報を共有できる社内システムがありますか。

行ラベル／列ラベル	全社的共有	店舗間共有	店舗蓄積
①スーパー	24.4%	46.7%	28.9%
②書籍・文具	20.0%	40.0%	40.0%
③楽器・CD・レンタル	44.4%	22.2%	33.3%
④百貨店	30.0%	45.0%	25.0%
⑤ドラッグストア	28.6%	57.1%	14.3%
⑥ホームセンター・カー用品	33.3%	33.3%	33.3%
⑦衣料品	28.6%	14.3%	57.1%
⑨その他	30.8%	38.5%	30.8%

## 調査結果

問4-2 万引き犯の情報について同業者と情報共有していますか。

	件数	構成比
全体	142	100.0%
①情報の共有をしている	35	24.6%
②共有していないが、検討段階である	31	21.8%
③考えていない	72	50.7%
無回答	4	2.8%



## 調査結果（クロス集計）

問1-1 貴社の主要な店舗の店舗形態をお教えてください。

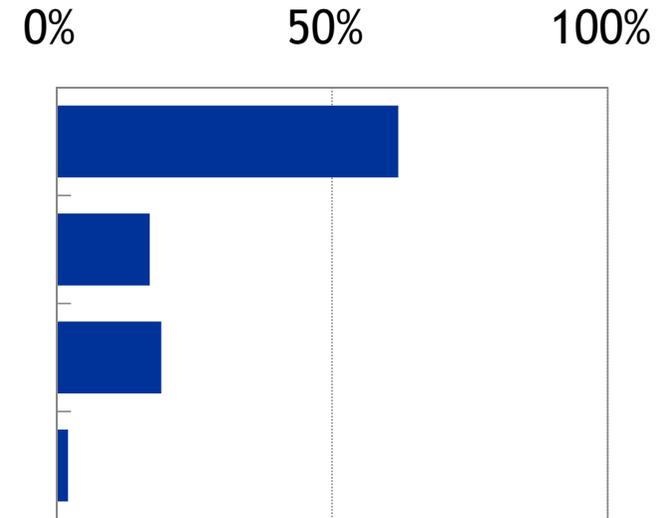
問4-2 万引き犯の情報について同業者と情報共有していますか。

行ラベル／列ラベル	同業者間共有	検討中	考えていない
①スーパー	14.9%	25.5%	59.6%
②書籍・文具	35.0%	15.0%	50.0%
③楽器・CD・レンタル	30.0%	20.0%	50.0%
④百貨店	60.0%	15.0%	25.0%
⑤ドラッグストア	42.9%	28.6%	28.6%
⑥ホームセンター・カー用品	8.3%	25.0%	66.7%
⑦衣料品	12.5%	37.5%	50.0%
⑨その他	8.3%	16.7%	75.0%

## 調査結果

問4-3 悪質な窃盗犯について警察に相談をして連携を図っていますか。

	件数	構成比
全体	142	100.0%
①連携をとるようにしている	88	62.0%
②連携していないが、検討段階である	24	16.9%
③考えていない	27	19.0%
無回答	3	2.1%



## 調査結果（クロス集計）

問1-1 貴社の主要な店舗の店舗形態をお教えてください。

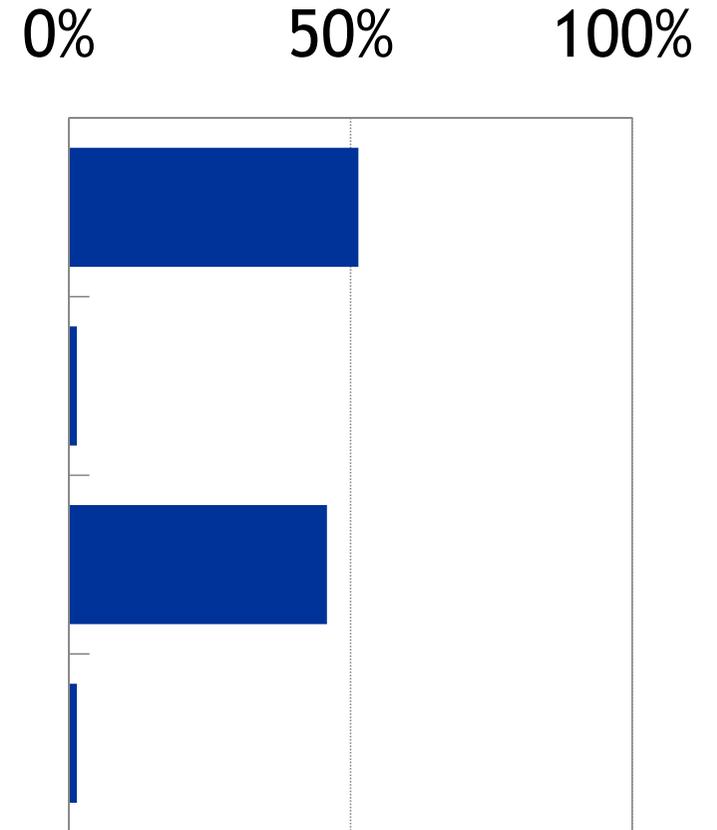
問4-3 悪質な窃盗犯について警察に相談をして連携を図っていますか。

行ラベル／列ラベル	警察連携	検討中	考えていない
①スーパー	66.7%	16.7%	16.7%
②書籍・文具	52.6%	15.8%	31.6%
③楽器・CD・レンタル	60.0%	30.0%	10.0%
④百貨店	95.0%	5.0%	0.0%
⑤ドラッグストア	71.4%	14.3%	14.3%
⑥ホームセンター・カー用品	66.7%	8.3%	25.0%
⑦衣料品	12.5%	50.0%	37.5%
⑨その他	46.2%	15.4%	38.5%

## 調査結果

問4-4 被害届の受理された犯人の来店時や、過去に捕まった人物による犯行が有った際等に警察に連絡をしましたか。

	件数	構成比
全体	142	100.0%
①連絡して対応してもらった事がある	73	51.4%
②連絡したが対応はしてもらえなかった	2	1.4%
③連絡したことはない/そのような事例がまだない	65	45.8%
無回答	2	1.4%



## 調査結果

問5-1 万引き防止に関して警察と連携を図っていますか。



## 調査結果（クロス集計）

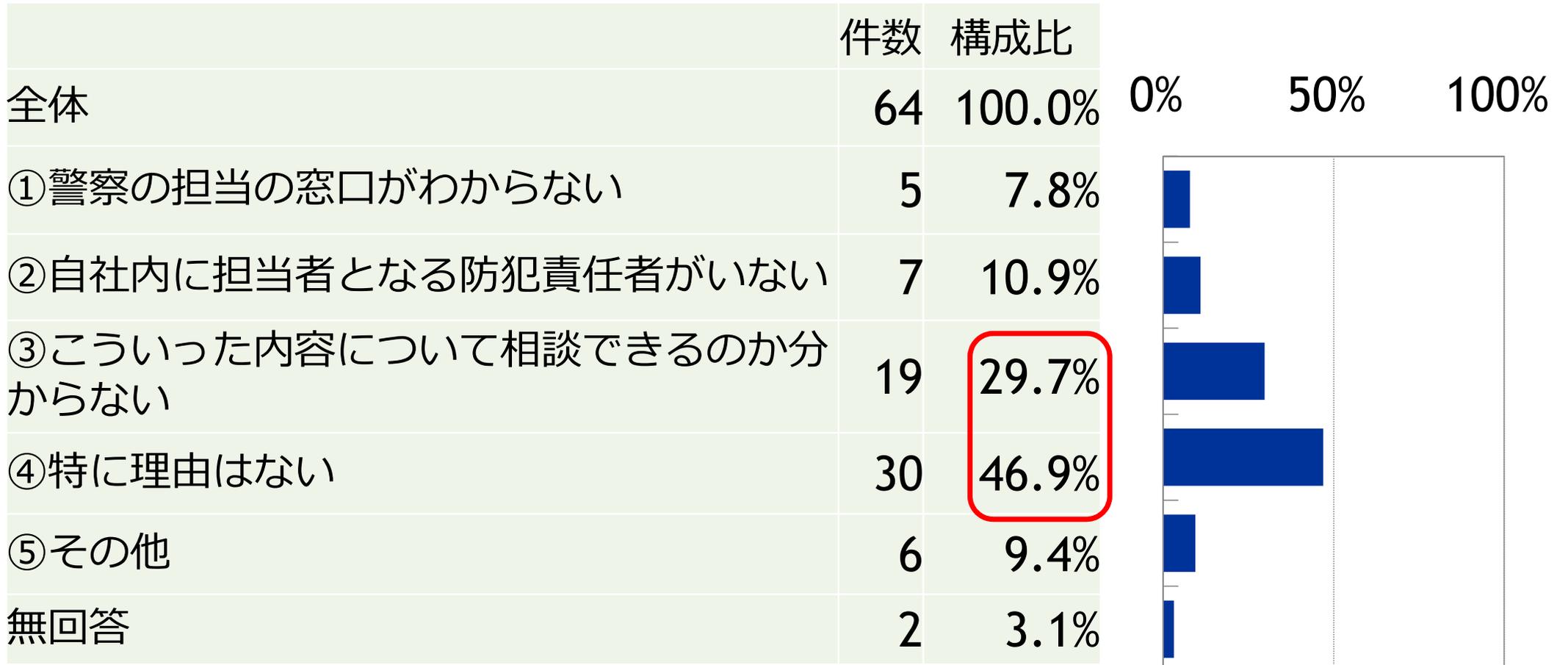
問1-1 貴社の主要な店舗の店舗形態をお教えてください。

問5-1 万引き防止に関して警察と連携を図っていますか。

行ラベル／列ラベル	警察連携なし	警察連携あり
①スーパー	37.5%	62.5%
②書籍・文具	55.0%	45.0%
③楽器・CD・レンタル	50.0%	50.0%
④百貨店	20.0%	80.0%
⑤ドラッグストア	28.6%	71.4%
⑥ホームセンター・カー用品	50.0%	50.0%
⑦衣料品	87.5%	12.5%
⑨その他	76.9%	23.1%

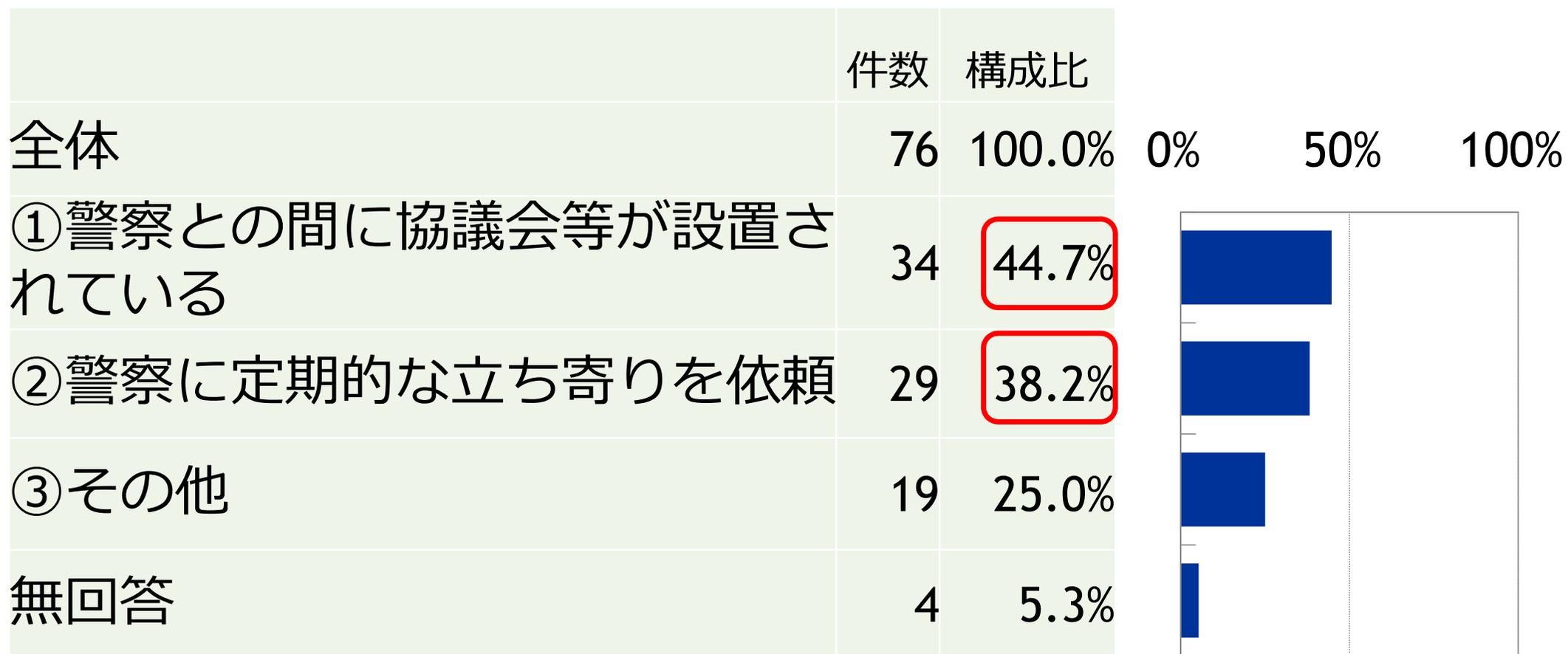
## 調査結果

問5-2 問5-1で①（警察と連携を図っていない）と回答した方について、なぜ連携を図っていないのか理由があれば選んでください。



## 調査結果

問5-3 問5-1で②（警察と連携を図っている）と回答した方について、どのような連携を図っていますか。



## 調査結果

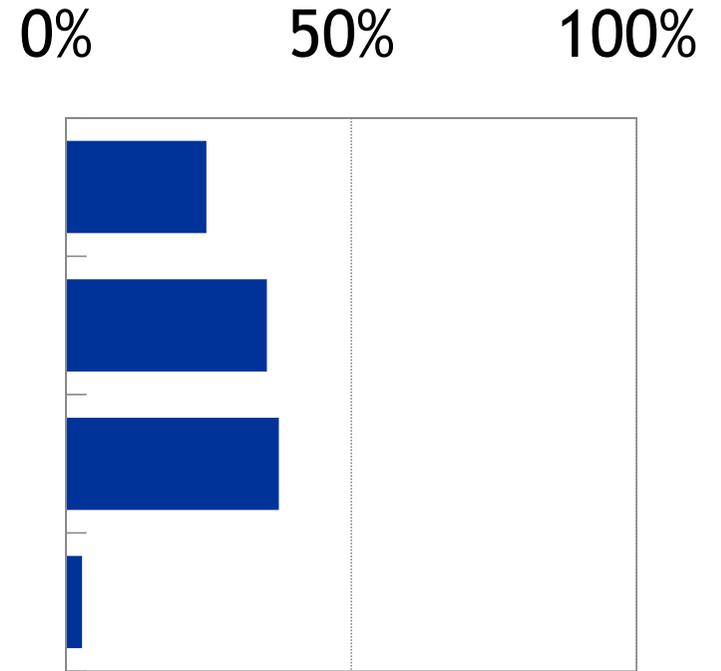
問5-7 犯人を警察に引き渡した際の関係書類の作成時間はどれくらいですか。



## 調査結果

問5－9 万引行為を現認し、被疑者を捕まえた場合、どこに連絡しますか。

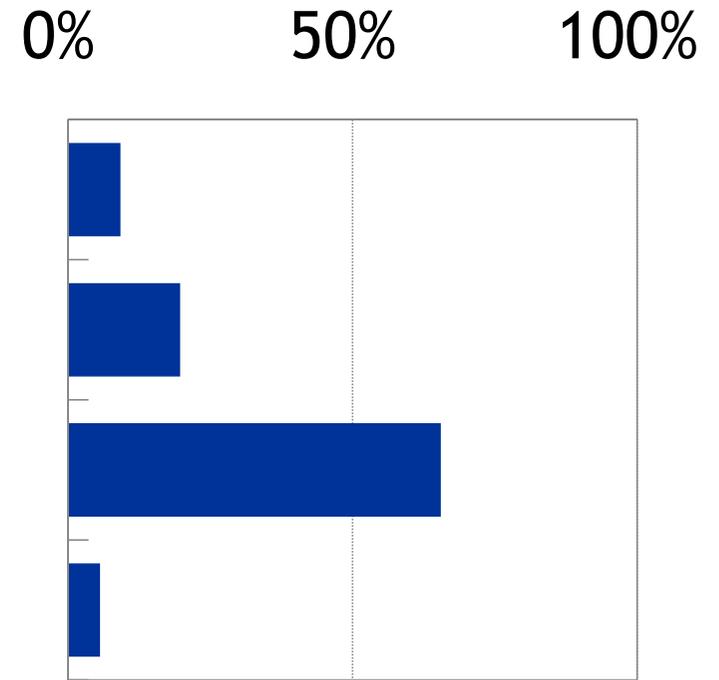
	件数	構成比
全体	142	100.0%
① 1 1 0 番	35	24.6%
② 所轄警察署	50	35.2%
③ 管轄交番	53	37.3%
無回答	4	2.8%



## 調査結果

問5-10 防犯カメラに犯行の記録が映っていないと事件にならないと言われたことがありますか。

	件数	構成比
全体	142	100.0%
①よくある	13	9.2%
②たまにある	28	19.7%
③言われたことはない	93	65.5%
無回答	8	5.6%



## 調査結果

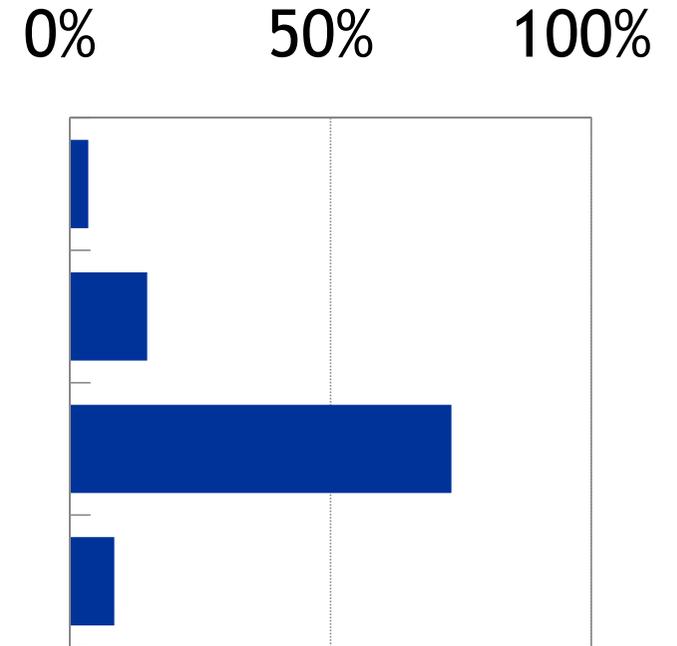
問5-11 警察官に少額の場合は通報しないで欲しいと言われたことはありますか。



## 調査結果

問5-14 店内で捕捉しても事件化できないと警察官に言われたことはありますか。

	件数	構成比
全体	142	100.0%
①よくある	5	3.5%
②たまにある	21	14.8%
③言われたことはない	104	73.2%
無回答	12	8.5%



## 調査結果

### 問5－15 警察官の対応で大変良かった事例があれば教えてください。

- ▶ 余罪が多数ある万引き事件において、多くの被害品を還付してもらうことができた。
- ▶ 大量万引き事件の捜査で協力依頼を受けたが積極的な姿勢に感心した。
- ▶ 防犯カメラに写った犯人の写真を提出していたところ、後日、町中で発見して検挙してもらった。
- ▶ 常習者に対し、機敏に対応してくれた。
- ▶ 万引きが発生すると多数の警察官が臨場してくれる。
- ▶ 万引き犯の人定ができていれば、犯人の警察署への呼び出しや身柄を確保してくれるので助かる。
- ▶ 被害が少額でも迅速的確に対応してくれる。

## 調査結果

### 問5－15 警察官の対応で困った事例があれば教えてください。

- ▶ 調書の作成に時間がかかりすぎる場合もある。
- ▶ 被害届を出すといい続けても受理してもらえなかった。
- ▶ 被害届を提出するなら弁済を一切受けるなと強く言われる。
- ▶ 常習者が来店したので通報し、職務質問により本人も認めたが、逮捕状が届いていないので捕まえられないと、そのまま放置された。
- ▶ 言葉づかいも悪く、調書作成が長い。



## Ⅲ 実態調査結果を踏まえた今後の対策

## 実態調査結果を踏まえて

- ▶ 業態ごとの取組み傾向が明らかになったことから、実態に応じて、ウィークポイントを改善していく働きかけが必要である。(対策が不十分な業種は回答率が低い傾向がある。)
- ▶ 業態ごとに差異があるものの全体として警察との連携がやや弱いことから、小売業者からの積極的なアプローチを行い、より強固な関係を構築する必要がある。
- ▶ 「調書作成に時間がかかる」「防犯カメラに写っていないと事件にできない」「少額の場合は連絡しないでほしい」「店内補足しても事件化できない」といった対応は一部であって、多くの警察官は適切に対応してくれていることが分かった。一部の警察官の対応について警察当局と情報共有する必要がある。

# 今後の対策

- ▶ 業態ごとのウィークポイントの改善指導
  - ①業態ごとの万引対策研修会の実施
  - ②ハード面、ソフト面の取り組みの強化
  - ③情報共有の推進（全国、隣県、業界、官民）
  - ④**個人情報保護法の正確な理解と活用**
  
- ▶ 警察と地域ぐるみで関係を構築する。
  - ①地域ごとの協議会設置の推進
  - ②防犯ボランティア活動の継続的な支援
  - ③**管轄警察署との意見交換の機会を増やす努力**